

動作
遊戯 ピョン太郎の運動會

東京女高師
幼稚園保姆

坂 内 み つ

登場人物(なるべく組の子供總出)

母蛙

ピョン太郎(子蛙)

ピョン吉(ピョン太郎の友達)

先生(蛙四匹)

準備掛(蛙大勢)

競技者(蛙五六匹)

遊戯者(蛙大勢)

準備品

テーブル 一。 椅子 一。

旗(紅白)數本。小旗(二等二等)記入其他數本。

賞品 數點。其他運動會の光景をあらはす

品々とりぐ。

第一場 (ピョン太郎の家)

テーブルと椅子と準備して置くテーブルの上

には辨當二つ、シヨール、帽子を用意する母
蛙出場新聞を讀んで居る

ピ「お母様よいお天氣よ、うれしいな、早く運動會に
いませう」

赤い小旗を手にしたピョン太郎元氣よく出て
くる

母「用意が出来たら出かけませう、そら御覽なさい

新聞に出て居ますよ、ピョン太郎さんのトビッキ

競争もありますよ、しつかりおやんなさいよ

ピ「僕お隣のピョン吉君を誘つて來ます

母親帽子をかぶり用意をする所にピョン太郎

ピョン吉手をつないで出てくる

二人「さあ行きませう」

三人辨當を持つて元氣よく出かける、

第二場 (運動會場)

先生の蛙は準備係を指揮して會場をつくる

(旗を立て綱、ポール、小旗を持ち出し運動會の氣分をつくる)、蛙の校長先生は椅子につき賞品にビヨン太郎カルタを用意して置く
母蛙其他見物す、

遊戯(女兒全體)
競技(トビツキ競争) (ポールをつるしたもの為準備する)

ビヨン太郎、ビヨン吉、其他五六人列ぶ
用意、ドンにて走り出す

ビヨン太郎一等になる
見物喝采、ビヨン太郎君萬歳の聲起る

ビヨン太郎、校長先生から賞品を貰ふ、
母蛙の所にかけて行く

ビ「お母様、僕一等になりましたよ
母「おう強い、よい子、よい子

喜んで頭をなでスキップしながら會場を一廻りして退場する。(終り)

~~~~~  
子「食事中注意されて涙汁をかんだ後  
涙が御飯の中へ落ちたら汚い？」

△「さあ、汚いや、食べられないね、同じだる、涙だつてお顔から出るだもの。」  
△「……………」

心理研究會發行の「心理研究」は大正十二年度より内容を刷新し従来よりも一層應用心理の方に力を盡し且つ海外に於ける最近の研究を紹介することに主力を注ぎ兼ねて時事問題の心理的解剖、心理學界の人事消息等に相當の頁を割くことにし大に發展する由其の内容豫告左の如し。

大正十二年一月號内容

最近十年間に於ける心理學教科書の進化

インディアナ大學 シエ・アル・カンター

心理學に於ける法則に關するブート

ルー氏の見解

心理學上「立場」の問題

研究と宣傳—視覺的教育の場合

家庭の狀況と知能

學習検査と兒童の學校成績との相關

精神検査で従業員の選抜が出来るか

科學的管理法の將來

歐米心理學の近況

ライプチツヒ消息

心理學應用の諸方面

産業能率

研究所長

産業能率

産業能率

産業能率

文學士 佐久間 鼎

文學士 岡本 重雄

文學士 岡部 彌太郎

文學士 青木 誠四郎

文學士 森谷 金子

産業能率 上野 陽一

研究所長 荒木 東一郎

産業能率 増田 惟茂

産業能率 帝大助教授 城戸 幡太郎

産業能率 在 獨 城戸 幡太郎

産業能率 文學博士 松本 亦太郎